

各位

**国際航業グループは太陽光発電「創エネ」ソリューションで電力不足に貢献
～遠隔地からの電力託送により、ピーク時電力25%以上の削減の具体策を提案～**

グリーン・インフラ事業のリーディングカンパニーである国際航業グループ（国際航業ホールディングス株式会社、コード：9234、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：呉文繡）はこのたび、遠隔地に設置する太陽光発電設備（以下、「ソーラーパーク」）で発電された電力を、託送制度により送電システム経由で受け取り自己の消費電力を賄う「創エネルギー」ソリューションで大幅な節電を実現します。東日本大震災に起因する電力供給力不足が懸念される中、太陽光発電事業開発を推進する国際航業グループは、この新たな「創エネ」ソリューションを広く認知いただくとともに、政府や多くの企業が掲げている昨夏比15～25%のピーク時電力削減目標の解決策として、本ソリューションの利用を提案いたします。

国際航業グループでは、遠隔地に設置する500kWクラスのソーラーパークで発電した電力を、一旦、特定規模電気事業者（PPS※）に預け、託送制度を利用して東京電力の送電ネットワークを通じて当社グループの東京事業所（契約電力約1000kW）まで送電します。これにより、同事業所の消費ピーク時電力の約50%相当を賄い、太陽光発電で賄えない電力は、PPSから調達し供給を受けます。

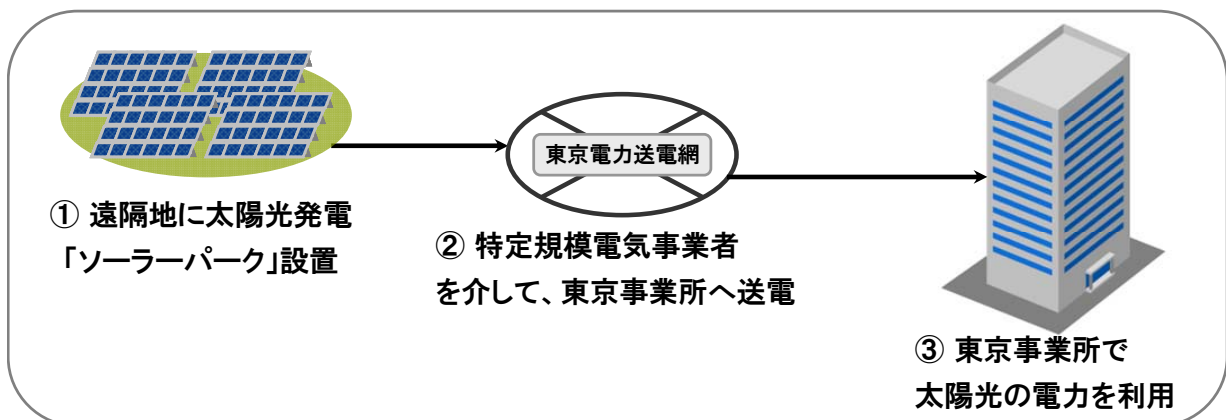


図1. 託送制度を活用した「創エネ」ソリューションのイメージ

太陽光発電は、どこにでも短期間に設置が可能な上、電力消費のピーク時間帯に最大の発電が可能です。本ソリューションは非常時における分散化電源として、特に燃料供給など物流機能に障害がある場合に、自立して電気を供給し続けられる発電設備として、災害対策として有効になり得ます（注：現時点では電気事業法上の制限があります）。

グループ会社の国際航業株式会社は、ソーラーパークでの発電により生じる環境価値をグリーン電力証書として活用することにより、地域のCO₂削減や地域活性化などに貢献してまいります。

※ PPS（Power Producer and Supplier）とは、50kW以上の高圧電力需要家を市場とする、特定規模電気事業者のこと。

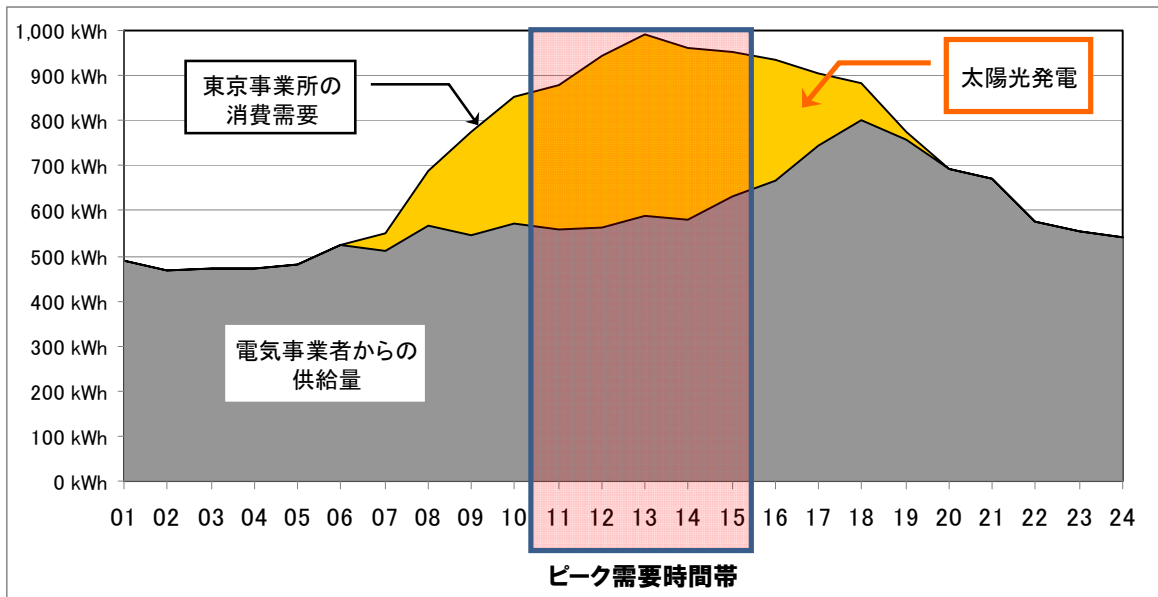


図2. 太陽光発電を利用した「創エネ」節電イメージ

「創エネルギー」ソリューションによる取り組みは、CO₂の発生を抑制しつつ、このたびの東日本大震災による電力供給力不足解決に向けた有効な手段と考えます。東日本大震災からの復旧・復興に向けて、国民一人ひとりが何ができるかを考え取り組んでいる中、国際航業グループは、国内外での太陽光発電事業の実績を持つ国内唯一の企業の社会的責任として、電力供給不安の解消に向けたアクションを始動することが、当グループの使命であると考えます。

以上

(ご参考)

【国際航業グループの概要について】

(<http://www.kk-grp.jp/>)

国際航業グループは、創業以来、航空写真測量や衛星画像による「空からの視点」で社会インフラの整備構築に貢献してきました。最先端計測技術を駆使して取得する空間情報は多岐にわたり、高度な分析を可能にするGISを活用して、行政支援、国土保全、都市・地域デザイン、防災・災害復興事業などを行っています。

国際航業グループでは「再生可能エネルギーを活用した地球に優しい社会基盤／社会資本」を“グリーン・インフラストラクチャー”と定義しています。長年にわたり国内外で培った社会インフラ整備の技術と実績、再生可能エネルギーの導入ノウハウを元に、「安心安全な地域づくり」「低炭素社会づくり」を通して、新しい時代が求めるグリーンシティの実現に貢献します。

【名称】	国際航業ホールディングス株式会社（持株会社）
【上場市場】	東京証券取引所 市場第1部（コード：9234）
【本社所在地】	〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地
【資本金】	169億3千9百万円
【代表取締役社長】	呉文 繡（うー うえん しょう）
【従業員数】	2,034人（連結）
【子会社数】	国内子会社 24社、海外子会社 41社

【お問い合わせ先】

国際航業ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部：鈴木、川幡
 TEL：03-3288-5704
 e-mail：press@kkc.co.jp URL：http://www.kk-grp.jp/